



3年生修学旅行 福井県で実施しました

初めて福井県内にて修学旅行を実施しました。コロナ禍にあって、県外で実施するのは3年ぶりとなります。まず、最初に訪れたのは三方五湖の1つ「水月湖」。ここは世界で唯一7万年分の地層が連続して残っており、世界標準の地層となっています。湖畔に建つ「年縞博物館」で、その成り立ちを学習しました。次の日は、福井県立恐竜博物館で、恐竜についての講義や化石の発掘体験を行いました。1億2千万年前の岩石から、ワニの歯や亀の甲羅、魚のウロコなど、貴重な化石を発見しました。2日目の夜は、天体観望。口径80cmの望遠鏡で、月や球状星団、ソンプレロ銀河を観ました。最終日は、カッター体験。みんなで協力して漕ぐと、スムーズに進みました。充実の3日間。思い出に残る修学旅行となりました。



福井県年縞博物館



福井県立恐竜博物館



化石発掘体験



大野市散策



天体観望



カッター体験

2年生 体験学習合宿に学ぶ

2年生では、6月16・17日に田辺方面にて、体験学習合宿を実施しました。みなべ町・千里の浜では、アカウミガメの上陸し産卵した跡を観ることができました。また、浜辺の清掃活動も行いました。田辺市・天神崎では、生き物観察とナショナルトラスト運動について学びました。17日は、和歌山県立情報交流センター Big-U で、ろうそくや地層をテーマに実験をしました。最後に、御坊市の道成寺で、絵とき説法で安珍清姫の物語を聴きました。和歌山の自然・文化にふれる合宿となり、充実した活動となりました。



千里の浜・清掃活動



天神崎で学ぶ